

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・たばこの値上げによる単価上昇が今後も続くと見込む。
		観光型ホテル（総支配人）	・年度末の追込み需要で持ち直すものの、宿泊人数は前年比で若干落ちると予測する。ただ、プロ野球キャンプ効果には例年以上に期待できる。
	変わらない	百貨店（営業担当）	・今月は既に前年実績をコンスタントにクリアする状況になっているため、この水準はある程度継続するとみるが、更に上向くとまで見込むのは、もう少し経過をみなければならぬ。
		スーパー（企画担当）	・単価下落により、買上点数が伸びても売上とリンクしない。競合の新規出店の情報もあり、価格競争の再燃など懸念材料が多い。
		スーパー（販売企画担当）	・競合店出店が多いなか、特に景気に影響があるような材料は無く、2、3か月後も変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数は前年比で4%減少しているが、売上が前年比2%増加している要因はたばこである。たばこ以外の売上は前年比で4%減少しており、この傾向は続いている。客離れをカバーできるたばこ以外の商品の底上げが無い限り、店舗収益は低下し続ける。
		コンビニ（エリア担当）	・2月は沖縄でキャンプを行うプロ野球球団の増加等、期待できる要素はある。ただし3月以降、子ども手当等の政府予算も安定せず、危機感もある。
		衣料品専門店（経営者）	・前年と比べて、客単価、一点単価共に変わりはないが、来客数が減少傾向にある。街も活気が無く、客の買い控えも感じられる。
		衣料品専門店（経営者）	・ニュースなどで世の中や政府の動きを見てみると、良くなる印象は無い。実際にここ最近の表通りの通行者数が減少しているなど、活気が無いように感じられる。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・厳しい状況だが、プロ野球のキャンプがあり、少しでも人が増えて活況が増すことを期待している。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・書店業にとって2、3月は売上の低い月であり、なおかつここ3か月の来客数の推移を見ると、良くなる兆しは無い。むしろ下げない努力をするので精一杯である。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・プロ野球のキャンプシーズンに入る2月に関しては、今年は話題の新人選手の影響もあり若干特需を受け、前年実績を上回ると見込めるが、その先に関してはまだまだ予約状況の伸びが弱く、厳しい状況が続くと考えられる。
		通信会社（店長）	・年末から年始にかけてスマートフォンによる市場の活性化はあったが、現在は落ち着いており、注目を集めるような新商品が出るまでは、現在の状況が続く。
		観光名所（職員）	・沖縄は、2月からのプロ野球キャンプで例年以上に入域観光客数は増えるものと見込まれる。ただ、国内経済が回復しなければ、県外入域観光客に頼る県内観光は今後も厳しい。
	ゴルフ場（経営者）	・今後も景気が良くなる材料が見当たらず、全体的に減少傾向は続く。	
	住宅販売会社（総務・企画分野）	・問い合わせや来場者数は例年同様の動きをみせており、悪い状況ではないと考えるが、客が競合他社との比較、相見積等でより慎重に行動しているため、今月より良くなるとはいえない。	
	やや悪くなる		
	悪くなる	商店街（代表者）	・今の不景気のなかで客の消費単価、販売単価が下落し、売上も当然減っている様子であり、観光土産関連は大変苦戦している。地元客用の買回り品も、収入減に伴い販売価格が低下して、大変危機的な状況に陥っている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・客はより低価格で美味しくボリュームのある商品を探しているが、ガソリンや仕入れ、人件費の値上げと経費は上がる一方で利益の出しにくい構造になっており、飲食業は生き残りをかけた戦いを続けている。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	通信業（営業担当）	・契約案件は確実に増えているので、景気は良くなる。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・公共、民間共に新規大型物件予定は無く、全体で横ばいの見通しである。
		建設業（経営者）	・引き合い件数の動きが鈍い。
		輸送業（営業担当）	・物流業界においては県内の景気が良くなると大きくは期待できないが、海外への農産・水産商品の輸出案件が若干だが増えてきている。
	輸送業（代表者）	・宮古地区は生コンクリートとアスファルトの両方が共に順調で、全体的に活気がある。	

	広告代理店（営業担当）	・県民の消費支出が高まる傾向に無い市況において、景気回復に期待できない。結果として、企業の販売促進費の減少傾向も止まらないように感じる。
	やや悪くなる	
	悪くなる	-
	良くなる	-
雇用関連	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当） ・これからは、新卒採用や中途採用にも企業が力を入れていくように感じられる。
	変わらない	人材派遣会社（総務担当） ・派遣先からの長期の受注案件が見込めない状況である。短期の案件も同様であり、単発の案件の受注のみの状態である。 求人情報誌製作会社（総務担当） ・求人情件数が前年4月ごろより徐々に回復しつつあり、最悪を脱して「どちらとも言えない」状態ではあるが、2、3か月という短期間で景気が良くなるまでの力強さは、まだ感じられない。 職業安定所（職員） ・漸次求職者の増加がみられる。求人は県内産業構造の偏りがあり、医療・福祉、サービス業に増加がみられる。また、資格・経験等におけるミスマッチがある。安易に就ける仕事ほど離転職が激しい。 学校〔専門学校〕（就職担当） ・求人や採用をしたくても経費が無い企業が多く、支援金も一時的なものであるため、それを上回る好材料が見当たらない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（経営者） ・単発含め契約期間終了の派遣先が多数出てくる。新規の依頼の動きがまだみえない。
	悪くなる	-